

輝け！シン尾花沢中

第121号

令和8年

10月16日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

自分を知り、仲間を知る～校長がみた修学旅行3日目～

私がみた、2年生の修学旅行。今号では、3日目の様子を紹介します。

9日（金）：3日目

○ホテル出発。部屋点検もスムーズで余裕を持って退室できていました。「3日間、お世話になりました」とメモを書き残していった班があるそうです。

○浅草寺。おみくじを引いて「校長先生、凶でした！」「大吉です。やった！」と報告してくれる生徒達に、自然と笑みがこぼれました。仲見世での買い物も楽しそうでした。いちご飴やソフトクリーム、人形焼きを美味しそうに食べている姿が印象に残りました。木刀を買ってきた生徒もいて、木刀を背にして歩く姿は、まるで佐々木小次郎のようでした。

○上野散策。私は、集合時刻の1時間前には集合場所で待っていましたが、アメ横から早々に帰ってきた班がありました。アメ横での自分たちの班のこと、他の班のことを一生懸命に報告してくれました。集合場所はとても賑やかな雰囲気となりました。



この修学旅行は、スローガン通り生徒達を大きく成長させるものであったと思っています。私は、学校生活では見ることのできない一人ひとりのさまざまな表情を、この修学旅行中に見ることができました。

おそらく、生徒の皆さんも、この旅行中に「新たな自分を知る」「仲間の新たな一面を知る」場面があったことと思います。良いことだけではなく、意外なことや不快なこともあったことでしょう。学校生活では見えなかったであろう全てのことを知った上で、「今後、自分はどのように生きていくか」「今後、自分は仲間とどうかわっていくか」を考えることができるようになったことが、一つの成長であると思っています。

2年生は、生徒会役員選挙などを経て、尾花沢中の舵取り役となります。今回の修学旅行の体験を糧にさらなる成長を期待しています。

支えてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

【文責：校長 工藤雅史】